

❖コクヨCSR憲章	❖会社概要	❖コクヨが主に取り組む領域	❖コクヨの取り組みと、その歩み	❖未来と社会のための取り組み	❖コクヨのさまざまな取り組み	❖2018年 コクヨの取り組みのご紹介
❖コクヨのCSR	❖環境	❖社会	❖ガバナンス	❖社外からの評価	❖対照表	

コクヨの取り組みと、その歩み

Date

1905		1914		1959		1965	
1908		1932		1960		1966	
1913		1956		1964		1975	
1905	黒田善太郎が和式帳簿の表紙を製造する「黒田表紙店」を開業	1914	店名を「黒田国光堂」と改称 伝票、仕切書、複写簿、便箋の製造を開始	1959	測量野帳発売	1965	スチールデスク発売
1908	和帳の製造を開始	1932	色紙付書翰箋発売	1960	オフィス家具の製造販売を開始 ファイリングキャビネット発売	1966	事務用回転イス発売
1913	洋式帳簿の既製品化を開始	1956	フラットファイル発売	1961	社名を「コクヨ株式会社」に変更	1969	日本初のライブオフィス誕生
				1964	スクラップブック発売	1975	キャンパスノート発売 教育施設用家具の製造を開始

1981



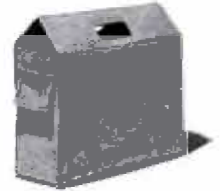
2003



2012



2016



1983



2005



2015



2017



2000



2009



2015



2018



1981

「ロングランドesk
くるくるメカ」発売

2003

コクヨKハート設立
カドケン発売

2011

インドのCamlin Limited
の株式取得、
「コクヨカムリン」に
社名変更

2016

「モバイルバッグ
(mo・baco)」発売

1983

ファイルボックス-FS発売

2004

分社化 持ち株会社制へ

2012

鉛筆シャープ発売

2017

ショップ&カフェ
THINK OF THINGS
オープン

1996

海外現地法人を設立し、
文房具・家具の製造、
販売、輸出入業務を開始

2005

創業100年、
コーポレートロゴ一新

2013

カウコレ誕生

2018

オフィスチェア「ing」
発売

1998

ユニバーサルデザインへの
取り組み開始

2006

テープのり「ドットライナー」
発売

2015

事業再統合
家具ブランド
「DAYS OFFICE」発売

2018

接着用品ブランド
「GLOO」発売

2000

カウネット設立
ユニバーサルデザインの画
鋏「プニョプニョピン」発売

2008

株式会社アクタスへ
資本参加

2015

ソフトリング® ノート
発売

2002

コクヨデザインアワード
開始

2009

「針なしステープラー
(ハリナックス)」発売

キャンパスノートの進化

使う人のニーズに合わせて、
絶え間なく進化してきました。

1975



初代キャンパスノート

1959年、当時主流であった糸とじとは全く違う「無線とじ」を製品化。全国の学生向けに初代キャンパスノートを発売しました。

1983



2代目キャンパスノート

表紙で罫内容が分かるようA罫・B罫の英文字と罫線イメージを大胆に表示。新しくロゴを作成し、親しみやすく飽きのこないデザインで社会人にも定着しました。

ライブオフィスの実践と変遷

モノづくりと空間構築、
ワークスタイルの研究の成果を実践し、
ショールームとして公開。

1969



日本初のライブオフィス

日本初のライブオフィスとして、社員が実際に働く姿が見学できる「生きたショールーム」が誕生しました。

1980s



コミュニケーション支援オフィス

コミュニケーションに対するニーズの高まりに応えた、日々の効率的な作業をサポートするオフィスを提案しました。

1991



3 代目キャンパスノート

過去に類を見ないビビッドな色使いと、縦にロゴを配置するという思い切った変更を行い、とことんデザインにこだわることでさらなる独自性を高めました。

2000



4 代目キャンパスノート

お客様の満足度を高めるために、徹底的に材料を研究。絶え間ない努力の結果、最後までノートを使っても破れにくい新クロスの開発に成功しました。

2011



5 代目キャンパスノート

背クロスの表面加工を見直すことでペンで書き込みがしやすくなったほか、中紙の原紙の仕様や罫線を変更したことでより線が引きやすく使いやすいノートになりました。

1990s



大規模フリーアドレスオフィス

デバイスの進化をいち早くキャッチし、固定した自席をもたない「フリーアドレス」を実践しました。

2000s



大規模オール無線 LAN オフィス

社内どこでも移動して利用できる無線 LAN システムを導入。IP 携帯電話の活用によるコストダウンも実現しました。

2010s



クラウドワーク支援オフィス

進化するクラウド支援を活用。チームコミュニケーションを築き、社内との新しいつながり方をつくりだしました。